

バンダイナムコグループの退職金制度を改定  
企業型確定拠出年金（DC）を最大活用した制度に統一

株式会社バンダイナムコホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：浅古有寿）は、2025年4月より国内グループ会社を対象に、下記のとおり退職金制度を改定しましたのでお知らせいたします。

記

- 1. 改定の目的** バンダイナムコグループはグループの最上位概念「パーパス“Fun for All into the Future”」のもと、2025年4月よりスタートした新たな中期計画において中期ビジョン「Connect with Fans」を掲げ、IPファン、パートナー企業、株主、グループ社員などあらゆるステークホルダー、そして社会とつながり、各種取り組みの推進により、企業価値の向上と長期利益の創造を目指しています。

この度、国内グループ会社の退職金制度を改定し、企業型確定拠出年金（DC）への統一を行うことにより、さまざまな働き方に対応した制度へ変更しました。

本施策により、重要なステークホルダーであるグループ社員とのつながりをより一層強化し、社員が安心してチャレンジできる環境の整備を推進します。
- 2. 改定の概要** 従来は、企業型確定拠出年金（DC）、確定給付企業年金（DB）、退職一時金、前払退職金、これら制度を組み合わせ各社にて退職金制度を構築していましたが、2025年4月以降はグループ共通のDCプラットフォームにより積立・運用を行う制度となります。

また、育児・介護休職中も積立が継続されるなど、社員がより安心して働き続けることができる退職金制度へと改定いたします。
- 3. 対象会社** 2025年4月時点で国内28社（約7,000名）が対象となり、現在退職金制度が整っていないグループ会社などについても順次対象に加えていく予定です。

バンダイナムコグループについて

バンダイナムコグループは、純粋持株会社である株式会社バンダイナムコホールディングスのもと、4つの事業特性ごとにグループ会社が所属する4つのユニット：Toy Hobby、Digital、映像音楽、Amusementと、各ユニットをサポートする関連事業会社から構成されているエンターテインメント企業グループです。

株式会社バンダイナムコホールディングス <https://www.bandainamco.co.jp>

本社：東京都港区 代表取締役社長：浅古有寿 資本金：100億円